

令和六年度採用

山梨県公立学校教員選考検査

高等学校・国語 問題

「始め」という合図があるまで、このページ以外のところを見てはいけません。

注 意

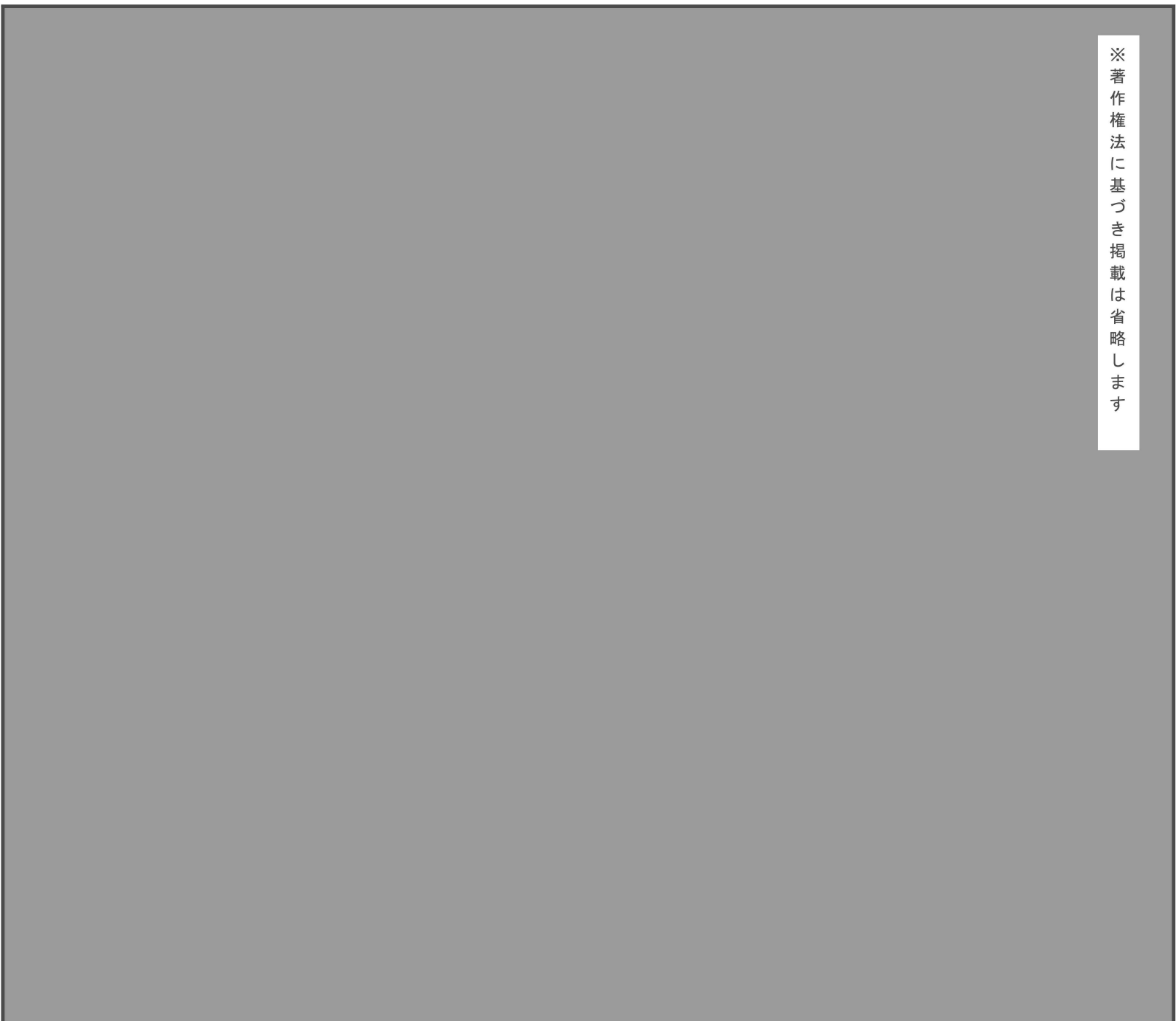
- 一 この問題は四問、五ページで、時間は六十分です。
- 二 解答用紙は、別紙で配付します。「始め」の合図で始めてください。
- 三 解答は、それぞれの問題の指示に従って解答用紙に記入してください。
- 四 「やめ」の合図があったら、すぐやめて係の指示に従ってください。
- 五 解答用紙を持ち出してはいけません。

高等学校 国語

一

物質科学の方法論に対して問題提起をしている次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

※著作権法に基づき掲載は省略します



出典は矢野雅文「科学資本のパラダイムシフト パンデミック後の世界」(二〇二二年・知の新書)
なお、一部省略した箇所がある。

語注

※1 動的な平衡状態……実際は変化しているが、合成と分解が同じ速度で進んでいるため、変化が起きていないようにみえる状態。

問一 傍線部⑤「イジ」、⑥「ロウヒ」のカタカナを漢字に直せ。

問二 空欄 に当てはまる言葉として最も適当なものはどれか。次のア～オの中から一つ選び、記号で答えよ。

ア つまり イ むしろ ウ しかし エ なぜなら オ しかも

問三 傍線部①「生体システムは無限定環境に生きており、適応するために環境とリアルタイムに調和的關係を築きながら生きています」とあるが、生体システムが無限定環境と調和的關係を築くためにはどのようなことが不可欠であると筆者は述べているか。本文中から十字で抜き出して答えよ。

問四 傍線部②「その人」と対比して用いられている言葉を、本文中から六字で抜き出して答えよ。

問五 傍線部③「述語的な技術」とあるが、どのような技術か。六十字以内で説明せよ。ただし、句読点や記号は字数として数えることとする。

問六 傍線部④「ホスピタリティ技術は逆問題を解く技術でもありません」とあるが、「逆問題を解く」とはどういうことか。四十五字以内で説明せよ。ただし、句読点や記号は字数として数えることとする。

問七 傍線部⑦「商品と交換とサービスの中心の世界」について説明したものとして適当でないものを、次のア～オの中から一つ選び、記号で答えよ。

- ア 社会システムが物質科学の方法論を基にしたものであるため、物事自体の価値が他の物事との比較によって決まる世界。
- イ サービスの提供者自身が利益の最大化を目指すため、大多数の人々に受け入れられるようにサービスが立案される世界。
- ウ 商品の値段を下げるためには需要を増やす必要があるため、利用者個々のニーズに応じた商品開発が求められる世界。
- エ 商品は生産者と消費者が分離的に作られた商品であるため、消費者の思い通りに商品を使用することができない世界。
- オ 情報の意味的な側面が排除されているため、商品を使用する際に必要な情報は使用者自らが補わなければならない世界。

問八 本文の筆者は、環境問題について、資本と場所とホスピタリティの世界へのパラダイムシフトを提唱しているが、それはホスピタリティ技術にどのような特徴があるからか。「という特徴」に続くように、本文中から三十字で抜き出し、最初の五字で答えよ。ただし、句読点や記号は字数として数えることとする。

一 高等学校学習指導要領（平成三十年告示）では、「思考力、判断力、表現力等」の各領域において、学習過程が一層明確化された。特に、自分の考えを形成する学習過程が重視され、探究的な学びの要素を含む指導事項が全ての選択科目に位置づけられた。

このことを踏まえ、「古典探究」において、「読むこと」の領域の（１）のク「古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりすること。」を指導するにあたり、あなたはどのような授業を展開していくか。次の１～４について答えよ。

- 1 どのような単元を設定するか、単元名を答えよ。
なお、単元は教材の名称ではなく、「・・・を・・・しよう」のように、中心となる言語活動の内容を表したものととして設定すること。
- 2 古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価するためにどのような学習活動を行うか答えよ。
- 3 我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりするために、どのような学習活動を行うか答えよ。
- 4 3の学習活動において、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしているか、学習者一人ひとりの実現状況を、授業のどの場面で見取るか答えよ。

三 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

※著作権法に基づき掲載は省略します



語注

出典は「今物語・隆房集・東斎随筆」(三弥井書店)ただし、表記を改めた箇所がある。

※1 杉むら……杉木立。古歌では恋人が訪ねて来るときの目印とされている。

※2 ほかのさかしら……外からの世話、介入。

※3 はなだのうすやう……はな縹色(薄い藍色)の薄手の雁皮紙。

問一 傍線部①「庭の荻原まねけども」に用いられている表現技法を、「法」に続くように漢字二字で答えよ。

問二 傍線部②「月にながめ、嵐にかこちても」、⑨「なにしにかは、君の御ゆゑにてさぶらふべき」をそれぞれ現代語訳せよ。ただし、⑨については「君」が誰を指すのかを明確にして現代語訳すること。また、そのように判断した理由も答えよ。

問三 傍線部③「心にくく」、⑦「おとなしき」、⑩「かはゆき」の本文中での意味を答えよ。

問四 傍線部④「やがてはしりむかひてたづぬるに」とあるが、御心しりがこのような行動をとったのはなぜか、簡潔に答えよ。

問五 傍線部⑤「まあり」、⑥「給ひ」について、敬意の対象を、それぞれ本文中から三字で抜き出して答えよ。

問六 傍線部⑧「おとる袖なくしぼりければ」は、かたへのもものどのどのような様子を表現したもののか。「様子」に続くように五字以内で答えよ。

問七 傍線部⑩「はしたなの心のたてぎまや。心おくれがとがになりつるよ」とあるが、どのような心情を表したもののか。次のア～オの中から最も適当なものを一つ選び、記号で答えよ。

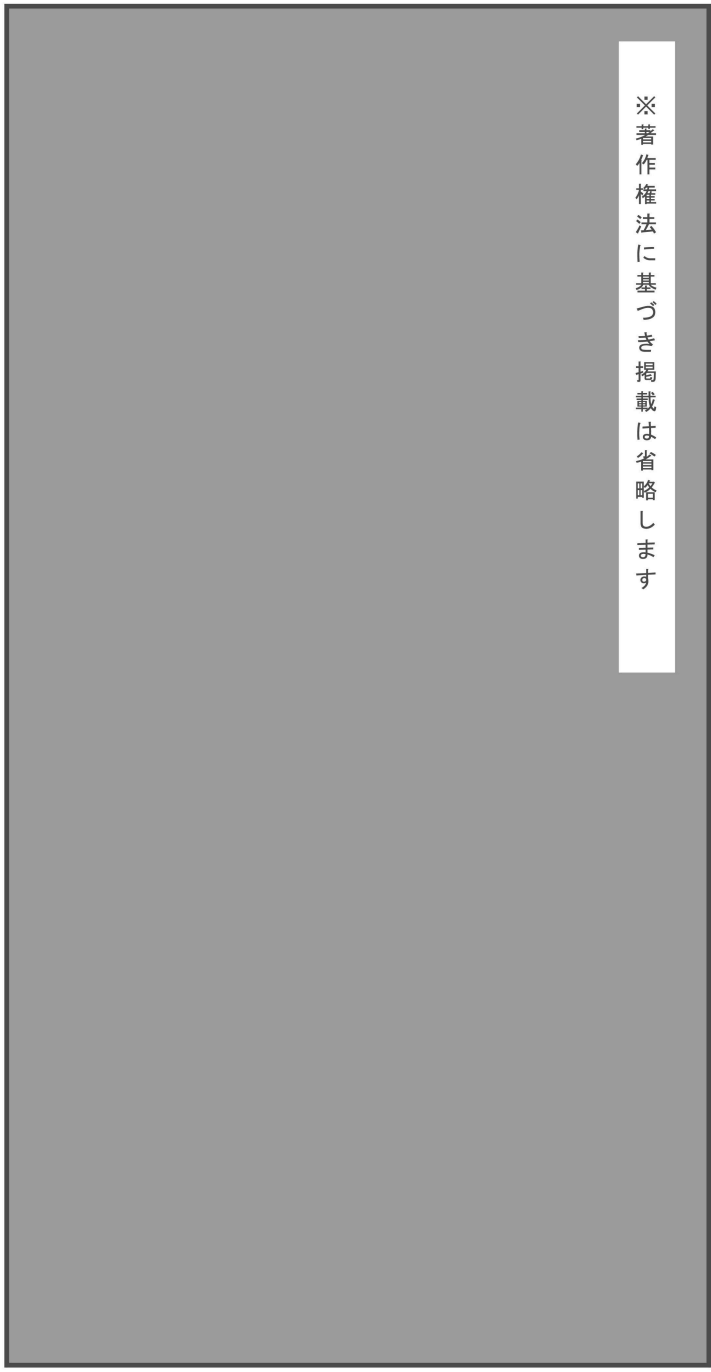
ア 後悔 イ 軽蔑 ウ 悲哀 エ 臆病 オ 驚嘆

問八 本文中の和歌には、どういった出来事に対する、どのような心情が表現されているか、簡潔に答えよ。

【四】 次の【文章Ⅰ】【文章Ⅱ】を読んで、後の問いに答えよ。なお、設問の都合上、訓点を省略した箇所がある。

【文章Ⅰ】

※著作権法に基づき掲載は省略します



出典は「新釈漢文大系 第八卷 莊子(下)」(明治書院)。
ただし、表記と訓点を改めた箇所がある。

語注

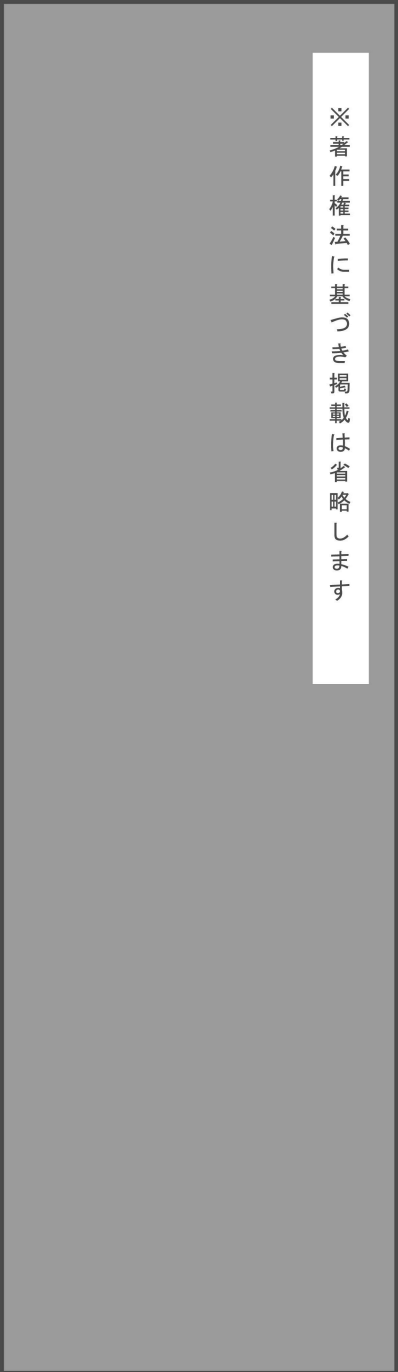
※1 顔淵……孔子の弟子。
※4 津人……渡し守。
※7 暇……ゆとり。余裕。

※2 仲尼……孔子の字。
※5 没人……潜水の達人。

※3 觴深……宋国にある淵の名。
※6 舍……心。

【文章Ⅱ】

※著作権法に基づき掲載は省略します



出典は「新釈漢文大系 第七五卷 唐宋八大家文読本 六」(明治書院)。
ただし、表記と訓点を改めた箇所がある。

語注

※1 苟然……その場限りでいい加減な様子。

問一 傍線部①「若」、⑤「敢」の読みを、送り仮名も含めてひらがなで答えよ。ただし、現代仮名遣いとする。

問二 傍線部②「操舟可学邪」、③「未嘗見舟、而便操之也」をそれぞれ書き下し文に改めよ。ただし、③はすべてひらがなで書き下し文にすること。なお、現代仮名遣いとする。

問三 傍線部④「焉」の指示するものを【文章Ⅰ】の本文中から抜き出して答えよ。

問四 傍線部⑥「問何謂也」について、次の(1)、(2)の問いに答えよ。

(1) 顔淵のこの問いに対し、孔子は「没人」の心のあり様についてどのように述べているか。次の文の空欄【 】に五字以上、十字以内で適当な言葉を補え。

没人は舟で淵を渡ることや舟が転覆する事に対し、【 】心のあり様である。

(2) 没人が孔子の指摘する境地に至れるのはなぜか。【文章Ⅱ】に基づいて三十五字以内で答えよ。ただし、句読点や記号は字数として数えることとする。

問五 傍線部⑦「善游者数能、忘水也」、⑨「必将有得於水之道者」を現代語訳せよ。

問六 傍線部⑧「視舟之覆猶其車却也」とあるが、何と何を同一視しているのか説明せよ。

問七 傍線部⑩「則雖壯見舟而畏之」について、「則ち壮にして舟を見ると雖も之を畏る」という書き下し文になるように返り点を施せ(送り仮名は不要)。